

# 現場の人とセンサー・端末・ロボットを連携させ、リアルタイムに1:N管理！高度遠隔運用でリモートDXを実現



現場の深刻な人手不足や属人化による競争力低下が発生している

現場の自動化やロボットを導入したが効率的な管理ができていない



現場の業務特性に合わせて、人とエッジデバイス（ロボットやセンサーなど）との協調環境を柔軟に構築できます。1人の人が複数のエッジデバイスを管理する高度遠隔運用の基盤となるリモートDXプラットフォーム「REMOVAY」により、省力化や業務効率化を図り、人手不足の解消や競争力の強化に貢献します。

## 特長/概要

- 多種多様なエッジデバイスが混在する環境下でも現場の状態をリアルタイムに監視・運用が可能
- 人とAIの協調、確実な無線通信、1:N運用（一人が複数の現場を運用）で業務効率化を実現
- 遠隔管理者が現場をタイミングよく監視制御できる運用環境を構築



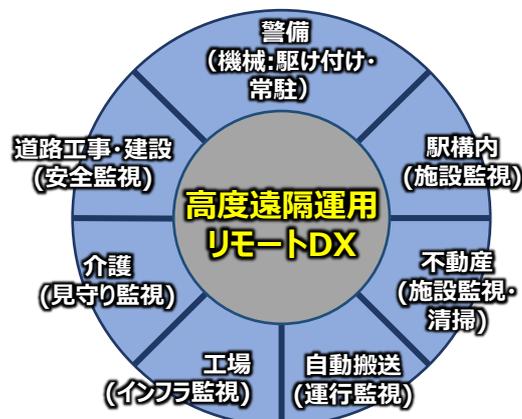
## 利用シーン

### 人手不足が深刻な分野への導入

#### 例) 警備や施設管理

現場の人とロボットなどのエッジデバイスの業務スケジュールを管理し、現場業務の見える化（施設内マップ、警備員の配置、異常場所など）現場異常へのアクションプラン提示がシステム化することで、警備対象の拠点を一か所だけでなく、複数拠点（N）へと拡大できます。

また警備や施設管理分野以外でも、幅広い業種に対して業務特化型でのサービス提供を実施致します。



#### ■ お問い合わせ

沖電気工業株式会社  
イノベーション事業開発センター  
ビジネス開発部  
<https://www.oki.com/jp/>

#### ■ 参考資料

高度遠隔運用  
現場の人とセンサー・端末・ロボットを連携させ、  
1:N管理！業務特化型リモートDX「REMOVAY」  
[https://www.oki.com/jp/yume\\_pro/about/ai.html](https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/ai.html)

